



しろね図書館だより

No.151

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

shirone.cl@city.niigata.lg.jp

平成24年12月発行

■師走。今年も残すところわずかになりました。この1年をしっかりとめくり、新しい年に繋げていきたい、毎年のごとですが、そんなことを思う時期です。

■21日は冬至。1年で最も短くなった陽が、この日を境にまた少しずつ長くなっていきます。でも、「冬至冬なか冬はじめ」という言葉のとおり、本格的な冬はこれからです。厳しい寒さに負けず、体に気をつけて過ごしたいものです。

■皆様が、心あたたかなクリスマスや年末年始を迎えられますように、そして、白根図書館が“本の力”を通して、少しでもお役にたてますように、願っています。



クリスマスおはなし大会

冬やクリスマスにちなんだお話を用意して、皆さんをお待ちしています。
プレゼントもお楽しみに！

12月22日(土)

しろね図書館
おはなしのへや

- ① 1回目 10時20分～ 乳幼児から
- ② 2回目 10時40分～ 乳幼児から
- ③ 3回目 11時00分～ 幼児から
- ④ 4回目 11時30分～ 幼児から

各回 30人まで。事前の申込みはいりません。当日直接会場にお越しください。大人の方も、どうぞ。



今月の展示架

いろいろなクリスマス



12月は展示コーナーもクリスマスカラーに染まります。クリスマスやサンタクロースのでてくる絵本やお話、世界のクリスマスの様子、パーティグッズやお料理の本など、見ているだけでもワクワクするステキな本がいっぱいです。



「春の雪」三島由紀夫/著
 「春の雪」監督/行定勲 出演/妻夫木聡 竹内結子
 「砂の器」松本清張/著
 ★「砂の器」監督/野村芳太郎 出演/丹波哲郎 加藤剛

●原作は、放浪の旅は、わずかしか書かれていないが、映像ではこの場面の印象が強い。ミステリーであったものが、監督などの制作側の意図が大きく変わった。清張自身も文章では描ききれないものが作られたとコメントしている。

★新潟市立図書館所蔵

「八甲田山死の彷徨」新田次郎/著
 ☆「八甲田山」監督/森谷司郎
 出演/高倉健 島田正吾

●映画では、すべてを撮りきれないので、省略される。本を読んで映画をみると細部まで楽しめるのではないかな。

☆西川・潟東図書館所蔵

「蝉しぐれ」藤沢周平/著
 「蝉しぐれ」監督/黒土三男
 出演/市川染五郎 木村佳乃

●テレビで放送された映画をみたが、どっちが良いとは言い切れない。藤沢作品は全集も全部読んだ。おすすめしたい作家である。

「鉄腕アトム」手塚治虫作

●月刊誌「少年」で連載されていた「アトム大使」。アニメ化され「鉄腕アトム」は世界20カ国以上で放映されている。

「ウエスト・サイド物語」
 監督/ロバート・ワイズ ジェローム・ロビンズ
 出演/ナタリー・ウッド

●ミュージカルから映画が生まれた作品。

11月の読書会 No.145
 今月のテーマ **読んでから見るか、見てから読むか**
 2012年11月18日
 参加者4名 日曜日

原作をどんな風に映像化するのか、比べるおもしろさ!

映像と原作は全くべつのだ
 原作の魅力と演者の魅力も感じたい
 映像を見てからじっくりと原作を読みたい

「ホビットの冒険」J.R.R.トルキン
 「ホビットの冒険」2012年12月公開

「はてしない物語」ミヒャエル・エンデ作
 ★「ネバーエンディング・ストーリー」

●本を映像化しようと思っても無理な作品もあるのではないかな。「失われた時を求めて」「戦争と平和」「アンナ・カレーニナ」はできないだろうと思っている。

★新潟市立図書館所蔵

次回の読書会

12月16日(日)午後2時～

12月の読書会のテーマ

会場 白根学習館ルーム2

「新潟に関係する本」

新潟といえは・・・たくさん話題はありそうですね。新潟が舞台となった作品、新潟出身の作家など自由に本について語りませんか。



申込みはいりません。気軽に本の話しましょう。おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。しるね図書館友の会共催



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする午後のお茶会のような集まりです

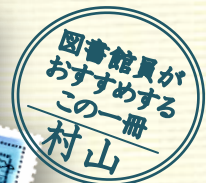


『お話を運んだ馬』

岩波少年文庫

I. B. シンガー作 工藤幸雄訳

岩波書店 2000



この『お話を運んだ馬』には、8編の短い物語が収められている。貧しいながらも心豊かな幼年時代を題材にした自伝的な作品や、荒唐無稽なホラ話もあるが、どれも素朴な口調で語りかけてくる。作者I.B.シンガーは1904年生まれ、ユダヤ系アメリカ人の作家。ポーランドで育ち、1935年渡米、1978年にノーベル賞を受賞した。

最初の「お話の名手ナフタリと愛馬サウスの物語」は、文字通り、「お話を運んだ馬」の話だ。ナフタリは小さい時からお話が大好き。父や母に、いつもお話をして、とねだっていた。お話が本で読めたらどんなに楽しいだろうと、勉強は人一倍やった。年に2回、大袋に本を担いで、本屋のレブ・ツェブルンがやってくる。ナフタリは、わずかなお小遣いをためておいては、お話の本を買った。

「お話の本のない子たちはどうしているんだろう」とナフタリはレブ・ツェブルンに聞いた。「なんとかしているのさ。お話の本はパンじゃない、な

くたって生きていける」「ぼくだったら、生きていけないけどなあ」

若者になったナフタリは、御者の父から馬の扱いを習い、自分で馬車を作り上げた。そして、長年かかって集めた本を積み、時に自らお話の語り手となって、愛馬サウスとともに町や村を巡った。この物語の結末は、何とも言えず美しく、奇跡のようだ。

「現在は、ほんの一瞬ずつだが、過去は一つの長い長い物語だ。物語を話すこともせず、聞くこともせぬ人たちは、その瞬間ずつしか生きぬことになる、それではじゅうぶんとは言えない」作中の老人の言葉が印象的だ。

人が生きていく不思議さを、不思議なままに描き、哀しくてしみじみと暖かい。こういう本を読むと、本はいいなあ、本を読むのは、ささやかだけれど、大切な自分の時間だなど、あらためて思う。

この本に限らず、岩波少年文庫は挿絵も味わい深く、大人の方にもおすすめです。



子どもたちといっしょに

「アンナの赤いオーバー」

ハリエット・ジーフェルト文
アニタ・ローベル絵
松川真弓訳 評論社 1990

すっかり寒くなりました。みなさんコートやオーバーの準備はできていますか？

「戦争がおわったら、あたらしいオーバーを買ってあげようね。」

とアンナに約束してくれたお母さん。でも、戦争がおわって冬になってもお金もないし食べ物もありません。そこでお母さんは考えて、おひゃくしょうさんに金時計と羊毛をとりかえてもらえないかとおねがいました。おひゃくしょうさんはころよくひきうけてくれますが、アンナは羊の冬毛をかる春までまたなくてははいけません。

春になり羊毛をもらったアンナとお母さんは、糸つむぎのおばあさんにランプとひきかえに羊毛をつむいでくれるようにたのみます。おばあさんはころよくひきうけてくれますが、早くつむぐことができないのでアンナが毛糸を手にいれたころには夏になっていました。

そしてまた季節は変わってクリスマスの日には…

さて、お母さんの作戦は成功してアンナはあたらしいオーバーを手にすることができるでしょうか。事実に基づいたおはなしです。(三宮)



年末年始休館のお知らせ

2012年 12月28日(金)から、2013年 1月4日(金)まで
白根図書館を年末年始のため休館させていただきます。

そのため、12月15日(土)から27日(木)まで
貸出期間を3週間に変更します。

1月5日(土)から通常どおり開館します。
どうぞよろしくお願いいたします。

こどもたちからの お手紙

おもしろかった本のこと、好きな本のこと、
図書館のポストによせられた
こどもたちからのお手紙を紹介します。

「おひさまとおつきさまのけんか」

「ゆうちゃんとアトピー」

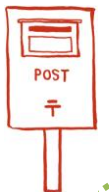
「いいからいいから」

おつきさまとおひさまがけんかしたけど、なかなかおりました。そこが
おもしろかった。

アトピーはかゆくなるだけだと思っ
てたのにすごくてたいへんだった。
あたしもみんなにやさしくなれてあ
げよっ。

この本はすごくおもしろいです。

このほかにも たくさんのお手紙を いただきました。カウンター右手にお手紙ポストがあるので
おもしろい本があったら ぜひしょうかいしてください。



1/9までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり 14:10～
ストーリーテリング 14:30～

おはなしかご例会
第2、第4週土曜日

12/8 (ルーム4・5) 10:00～
※12/22はクリスマスおは
なし大会のため中止

12月16日(日)

読書会(ルーム2) 14:00～



12月22日(土)
10:20～12:00

クリスマスおはなし大会



1月9日(水)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

白根図書館休館日
毎週金曜日と毎月第1水曜日

12/7(金) 12/14(金) 12/21(金) 12/28(金)
12/29(土)～1/3(木) 1/4(金)



11月の来館者数……………11,758人



ブックバス休止期間



★冬季(12,1,2月)はお休みします。
2/28・大鷲小が再開予定日になります。
またお会いしましょう。

※ブックバスでお使いのカードで、新潟市の図書館を
利用できます。新潟市全域のいろいろな所に図書館
がありますよ。どうぞ、ご利用ください。